



# 北朝鮮の核実験に断固抗議

## 被爆2世・3世の会と共同で緊急抗議行動

北朝鮮は1月6日、4度目の核実験をおこなったことを発表しました。

これを受けて岡山県原水協は岡山「被爆2世・3世の会」に呼びかけ緊急抗議行動をおこないました。午後5時半から岡山駅西口さんすて前でおこなった抗議行動には「2世・3世の会」代表の加百智津子さん、志賀雅子事務局長をはじめ、岡山県原水協加盟の労組、団体から19人が参加しました。

加百さんは「核兵器廃絶に向けた世界の流れに逆行する暴挙。今回の核実験に怒りと恐怖を感じます。私たち2世・3世は親や祖父・祖母の苦しみと願いを継承し、核兵器のない世界を目指し運動を続けます」と市民に訴えました。

県原水協の平井事務局長は、「昨年のNPT再検討会議の議論と国連総会の決議に見られるように、世界の流れは核兵器の非人道性に焦



点を当て、禁止条約の重要性を確認しました。今回の北朝鮮の核実験強行は禁止条約の必要性をいっそう明らかにしたのではないのでしょうか」と訴えました。

今回のこの行動はマスコミにも注目され在岡TV局、新聞社のほとんどが取材に訪れ、夜のニュースで放映、7日の各紙で報道されました。

写真上・訴える「被爆2世・3世の会」代表  
志賀事務局長、左は加百代表、写真右・取材するマスコミ



## 新年初の6・9行動をおこないました

1月6日、県原水協は2016年1月度〔第79回目〕の6・9行動をおこないました。県労、人権連など6団体から10人が参加し、市民に訴えました。



旅行で岡山を訪れたという埼玉県のご夫婦は「全国でやっているんですね。おつかれさま」と署名に応じてくださいました。12時過ぎからの短い時間でしたが26筆の署名が寄せられました。(写真上・参加者で記念撮影、写真右・対話する県労伊原事務局長)

